

グループチャレンジ

グループで様々な課題（ゲーム）に取り組み、「挑戦⇒失敗⇒改善⇒成功」プロセスの繰り返しによるグループの成長を実感できます。宿泊プログラムの導入に最適です。



対 象	4年生以上	実施時期	通年
持ち物	時計（グループごと）・筆記用具・救急セット・地図・チャレンジシート・ゲーム指示書（マニュアル）については事前発送		

ねらい

- ・ トライ&サクセス（挑戦と成功）の繰り返しによるグループの成長を実感する。
- ・ メンバーでアイデアを出し合い、全員で協力してチャレンジする意識を高める。

実施の流れ

準備 （1グループ8～10人程度）

- ① 職員と団体指導者による打合せ（ルールの確認、配置の決定、指導方法の伝達）30分程度
- ② 各ゲーム備品の設置

導入

- ① 動機づけ（上記「ねらい」参照）
- ② グループごとに地図・チャレンジシートを配布
- ③ ルールの説明（時間、場所、地図、チャレンジシートの使い方）
- ④ 安全上の注意（下記「留意点」参照）

実施

- ① グループごとに地図を見て、各ゲームのポイントに移動します。
- ② 【無人ポイント】ポイントに置かれた指示書に従い、制限時間または規定回数内にゲームにチャレンジし、クリアしたらチャレンジシートに○を記入します。
- ③ 【有人ポイント】指導員の指示に従い、制限時間または規定回数内にゲームにチャレンジし、クリアしたらチャレンジシートに指導員のサインをもらいます。
- ④ 制限時間内または規定回数内にクリアできなかった場合、他のポイントに移動します。同一ゲームへの連続チャレンジは不可。
- ⑤ 集合時間になったらチャレンジ中のゲームが終了次第、集合場所に集合します。

片付け

- ① 集合時間になり、最後のチャレンジが終了したら、各ゲーム備品を集合場所に移動します。

まとめ

- ① グループごとに得点を集計し、結果を発表します。
- ② グループごとにふりかえりの時間を持ち、各ゲームの成功の要因や、試行錯誤の結果成功した時の気持ちなどについて話し合います。
- ③ 話し合いで出たポイントをチャレンジシートの裏面に記入してまとめ、グループごとに発表します。
- ④ 下記「指導のポイント」を参考に、団体指導者から今後につながる内容の総括を伝えます。

留意点

- ① 指導が必要なゲームは、施設職員または団体指導者で指導を行きましょう。
- ② ゲームによってはバランスを崩して転倒したり、落下したりする危険性があるため、指導員は参加者の安全確保を第一に考え、事故を未然に防げるような位置に立って見守りましょう。
- ③ 指導員はゲームのルール以外のアドバイス等は基本的に行いません。ルールを緩和したり、答えに導くアドバイスを行うと、挑戦⇒失敗⇒改善⇒成功の過程が失われ、アクティビティ本来の意味を失うので注意しましょう。